

人材・社会貢献／環境保全活動

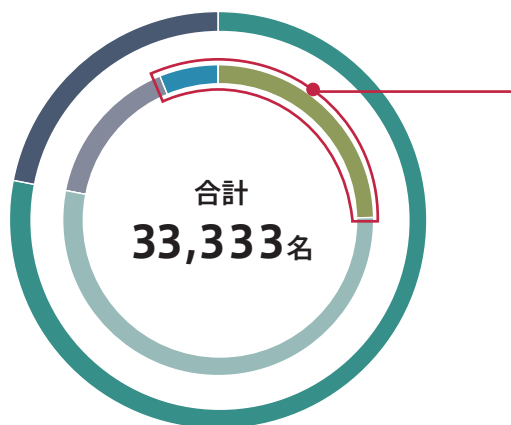
価値創造の源泉「人材」

社員それぞれの能力・専門性を最大限に活かす

オリックスにとって、最も大切な財産は「人」です。国籍、年齢、性別、職歴を問わず、多様な人材を受け入れることで多様な価値観や専門性による「知の融合」を図り、新たな価値を生み出すという考えのもと、社員それぞれの能力を最大限に活かせる職場づくりを目指しています。具体的には、働きがいのある職場づくりの一環として、多様な働き方を尊重し、社会情勢に先駆けた形で職場環境の整備、人事制度の改革を行っています。また、チャレンジする人にチャンスを与え、グローバルで活躍できる人材の育成を強化しています。

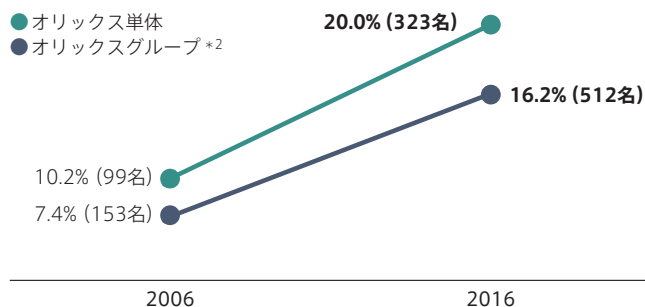


従業員構成比
(2016年3月末)

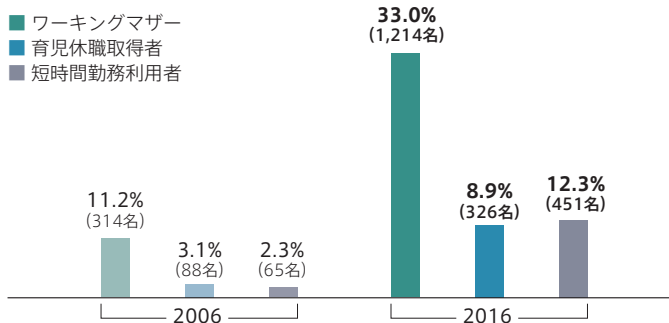


	人数	割合
● 海外 (●うち海外女性)	8,166名 (2,214名)	24% (7%)
● 国内 (●うち国内女性)	25,167名 (7,959名)	76% (24%)
女性(全体)	10,173名	31%

女性管理職推移*1



ワーキングマザー推移*2、*3



*1 「女性管理職推移」における%は、管理職に占める女性管理職の割合。
*2 オリックス(株)を含む国内主要グループ会社10社を対象とする。
*3 「ワーキングマザー推移」における%は、女性正社員に占めるワーキングマザーの割合。

社会貢献活動 より良い社会へ



オリックス宮内財団

企業活動ではカバーしきれない分野の支援

オリックスグループは、2006年に「オリックス社会貢献基金」を設立し(2010年公益財団法人に移行)、社会福祉、将来を担う子ども・青少年の支援、音楽・文化芸術などの分野において、さまざまな支援活動を行っています。



オリックス・バファローズ

スポーツを通じて地域コミュニティ活動へ参加

オリックス・バファローズでは、小学校を中心に、地域コミュニティ活動の一環として、球団OBがプロスポーツ選手として培ったキャリアをもとに行うキャリア教育訪問授業や、ティーボール教室などを実施しています。



オリックス米国財団

社員主導による慈善活動

ORIX USA Corporation (米国) は、2009年に非営利の慈善団体「オリックス米国財団」を設立しました。多くの社員が、さまざまな慈善プログラムやチャリティーイベントに参加しています。

環境保全活動 より良い地球環境へ



SANGO ORIX

沖縄サンゴ礁再生プロジェクト

オリックス不動産は、サンゴ礁が持つ高い生物多様性の保持能力を守り、美しい海を次世代へ残すため、2008年に沖縄サンゴ礁再生プロジェクト「SANGO ORIX」を開始し、沖縄県海域でサンゴの移植活動を行っています。



えのすいeco

海に隣接する水族館としてできること

新江ノ島水族館は、相模湾の生物や環境の多様性を伝える展示をはじめとした生物の生態を楽しく学べる場の提供や、ビーチクリーン活動、エコキャップ回収運動の実施など、独自の環境活動「えのすいeco」に取り組んでいます。



マングローブ植樹プロジェクト

台風をきっかけに植樹活動を開始

ORIX METRO Leasing and Finance Corporation (フィリピン) は、台風による被害をきっかけに、2012年よりサン・ミゲル湾沿いで地元の行政や若者とともに、マングローブの植樹活動を行っています。